

八学大、八工大 初戦敗退

氷上インカレ―H開幕

第96回日本学生氷上競技アイスホッケー競技は25日、三沢市など2市1町

の4会場で開催し、第1日は1回戦16試合を行った。県勢の八戸学院大は慶大に1―6、八戸工業大は日大に1―17で敗れ、第2ピリオドまでに3点

を献上。パワープレー（数的有利）の好機にも決めきれなかったのが痛かった。FW河村が試合終了間際に1点を返して一矢報いたものの、力及ばなかった。八工大は第1ピリオドこそ1―3だったものの、中盤以降は大量失点。第2ピリオドに6点、第3ピリオドに8点を奪われ、力の差を見せつけられた。シュート数はわずかに4本に終わり、反撃に転じることができなかった。第2日の26日は八戸、三沢両市の2会場で2回戦8試合を行う。（野上圭佑、下館悠々）

八学大 得点源欠き劣勢に

〇…相手の質の高いプレーやスピード感にのまれた八学大。武田監督は「ある程度の失点は想定内だったが、序盤で点を返せなかったことが痛かった」と話した。

チームの軸は北米に留学経験がある川岸、河村、工藤のFW3人。しかし、試合前々日、練習中に工藤が右手首に大けがを負い離脱を余儀なくされた。攻めの中心となる工藤不在の中、武田監督は「攻めの戦術がうまくかみ合わず、リバウンドも決めきれなかった」と肩を落とした。

一方、レベルの高いプレーを間近で体感した河村は「貴重な経験。（八学大は）まだこれからのチームなので、頑張りたい」と前向きだった。



〔八学大―慶大〕第3ピリオド19分31秒、八学大のFW河村が1点を返し、1―5とする。三沢アイスアリーナ